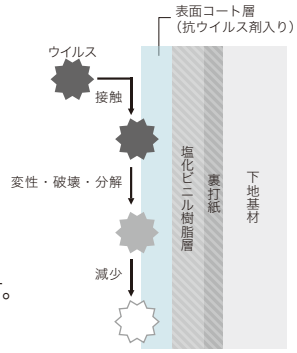
抗ウイルス壁紙

ウイルス対策を施した壁紙



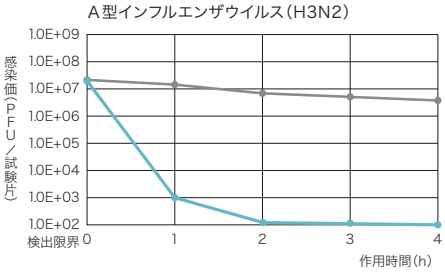
1. 壁紙表面に付着したウイルスを減少

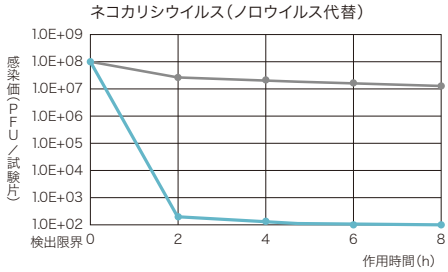
抗ウイルス性成分が、ウイルス表層のタンパク質を変性・破壊し、さらに有機成分を分解。
壁紙表面に付着したウイルスを減少させます。

2. 抗菌性にも優れ、よりよい衛生環境に

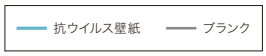
ウイルスだけでなく、細菌の増殖を抑制する働きもあり、よりよい衛生環境づくりをお手伝いします。

■ 抗ウイルス性能試験結果





［試験方法］JIS R 1756に準ずる。
［試験機関］北里環境科学センター



■ 抗菌性能比較表　規定値である［<0.63］の性能を有しています。

	大腸菌		黄色ブドウ球菌		MRSA	
	接種直後	24時間後	接種直後	24時間後	接種直後	24時間後
抗ウイルス壁紙	1.1×10^4	<0.63	1.3×10^4	<0.63	2.2×10^4	<0.63
無加工試験片（ポリエチレンフィルム）	1.1×10^4	8.9×10^5	1.3×10^4	3.4×10^4	2.2×10^4	2.8×10^4

［試験方法］壁紙工業会規定 抗菌壁紙性能試験に準ずる。

※抗ウイルス壁紙は病気の治療や予防を目的としたものではありません。
※ウイルス自体を分解、忌避する効果はありません。
※壁紙表面に付着したウイルスや細菌に効果を発揮します。
※空気中のウイルスの吸着を促進したり、減少させる効果はありません。

吸放湿壁紙

室内の湿気を快適にコントロールする壁紙

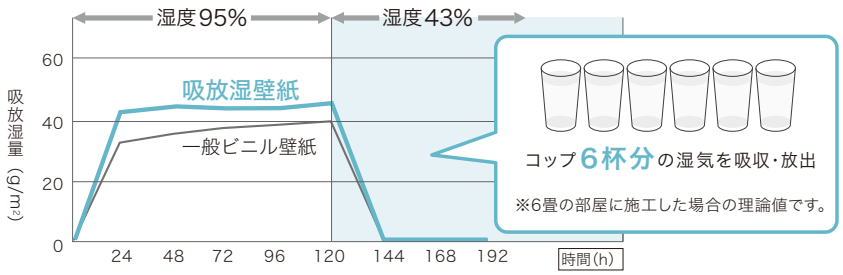
調湿効果

塩化ビニル樹脂に吸水性ポリマーを配合。
湿度の変化に応じて吸湿・放湿し、結露やかびの発生を軽減します。

■ 吸放湿性試験

［試験方法］壁紙を石膏ボードに貼り付け試験体とする。
室温30℃・湿度95%の状態で吸湿させた後、室温27℃
湿度43%で放湿させた場合の重さの変化を測定する。

［試験結果］



※環境や気候によって効果には差がございます。

※試験結果は測定値であり、保証値ではありません。